

2017年3月期 第2四半期連結決算 当期純利益は1,422億円、ROEは12.2%

2017年3月期第2四半期（2016年4月1日～2016年9月30日）の米国会計基準連結決算において営業収益は前年同期比4.4%増の12,211億円、税引前当期純利益は同12.6%減の2,192億円、当期純利益は同11.9%減の1,422億円となり、ROEは中期的な目標の11～12%を上回る12.2%になりました。

当第2四半期は、海外事業部門において前年同期にHoulihan Lokey, Inc. の株式売却益と評価益（約400億円）を計上したこと、および為替換算の影響による利益の目減りがありましたが、前年同期比191億円減の当期純利益1,422億円を計上しました。これは、環境エネルギー事業などの国内サービス収入の増加やコンセッション事業の収益化、時機を捉えた資産売却など、事業投資事業部門、リテール事業部門、および不動産事業部門の3つのセグメントが貢献したものです。さらに、今般、資本政策の一環として自己株式の取得を決議しました。

■ 主な経営指標の推移

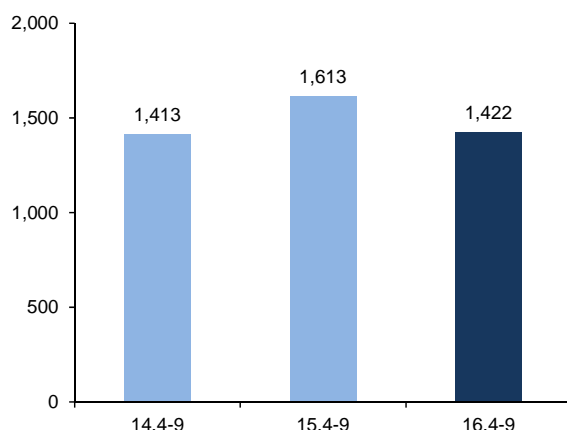
	2015.4-9	2016.4-9	増減率
営業収益	11,702 億円	12,211 億円	4.4%
税引前当期純利益	2,507 億円	2,192 億円	▲12.6%
当期純利益 ※	1,613 億円	1,422 億円	▲11.9%
株主資本当期純利益率（ROE：年換算）※	14.7%	12.2%	—

	2016.3	2016.9	増減率
総資産	109,929 億円	107,827 億円	▲2%
セグメント資産	89,724 億円	85,362 億円	▲5%
株主資本 ※	23,104 億円	23,650 億円	2%
株主資本比率 ※	21.0%	21.9%	—

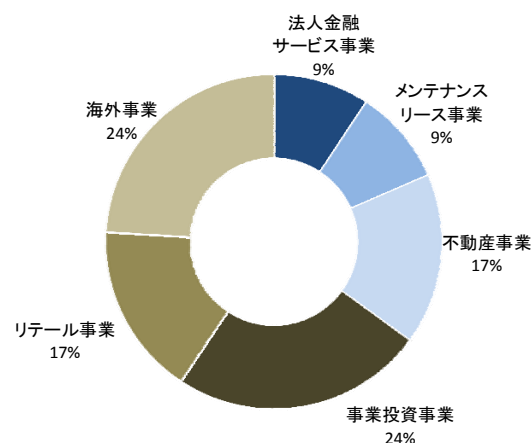
※「当期純利益」「株主資本」は、決算短信などの財務諸表で記載している「当社株主に帰属する当期純利益」「当社株主資本合計」を記載しています。「株主資本当期純利益率(ROE：年換算)」「株主資本比率」は、当該株主資本合計を用いて算出しています。

『当期純利益の推移』

(単位：億円)



『当第2四半期のセグメント利益内訳』

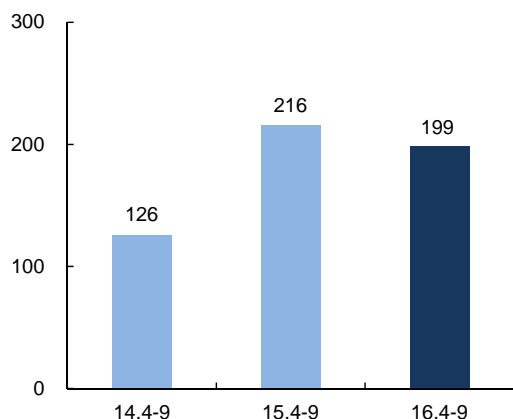


■ 各セグメントの業績概要（2016年4月1日～2016年9月30日）

【法人金融サービス事業部門】

融資、リース、各種手数料ビジネス

<セグメント利益> (単位：億円)

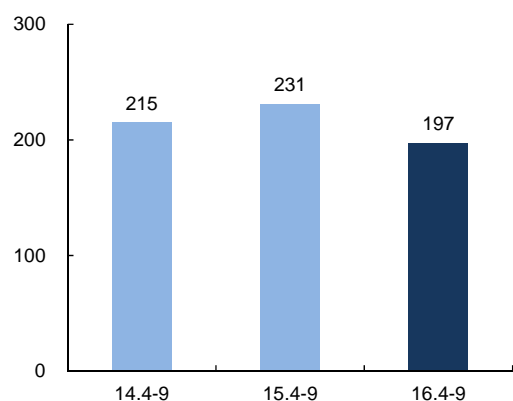


- ・ 2014年12月に買収した弥生からの収益などのサービス収入が増加。
- ・ 前年同期は、出資先の株式売却益を計上。
- ・ セグメント利益は、前年同期比 8%減の 199 億円を計上。

【メンテナンスリース事業部門】

自動車リース、レンタカー、カーシェアリング、電子計測器・IT関連機器などのレンタルおよびリース

<セグメント利益> (単位：億円)

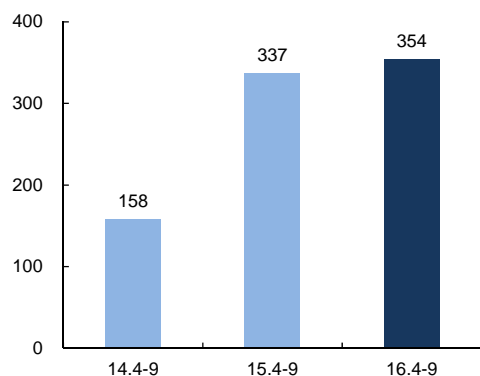


- ・ 前年同期比にて車両売却益が減少。
- ・ 証券化による影響を除き、収益性の高い自動車事業のリース資産は引き続き増加基調。
- ・ セグメント利益は、前年同期比 15%減の 197 億円を計上。

【不動産事業部門】

不動産開発・賃貸、施設運営、不動産投資法人（REIT）の資産運用・管理、不動産投資顧問

<セグメント利益> (単位：億円)

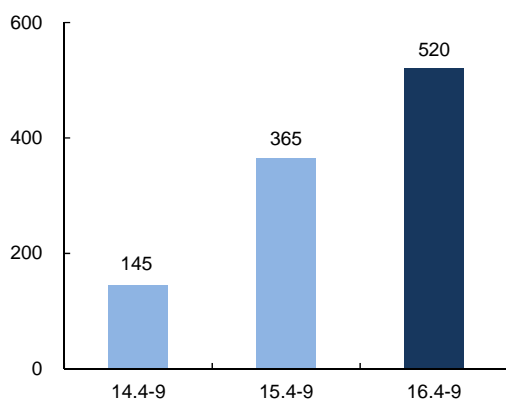


- ・ 活況な不動産市場を捉え売却を推進。売却益が増加。
- ・ サービス収入は、2016年熊本地震の影響からは回復基調。
- ・ セグメント利益は、前年同期比 5%増の 354 億円を計上。

【事業投資事業部門】

環境エネルギー、プリンシパル・インベストメント、サービサー（債権回収）、コンセッション

<セグメント利益> (単位：億円)

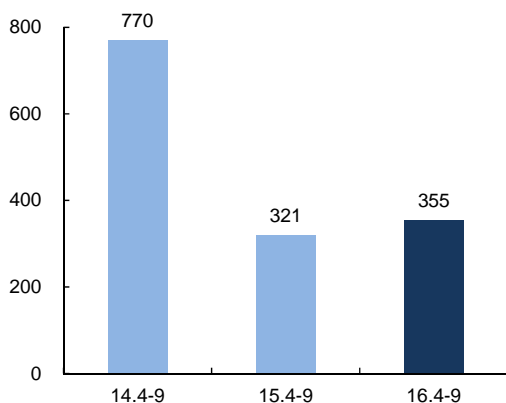


- ・メガソーラー事業などによるサービス収入の増加やコンセッション事業からの利益が貢献。
- ・株式売却益および新規投資先のバーゲン・パーチェス益を計上。
- ・セグメント利益は、前年同期比 43%増の 520 億円を計上。

【リテール事業部門】

生命保険、銀行、カードローン

<セグメント利益> (単位：億円)

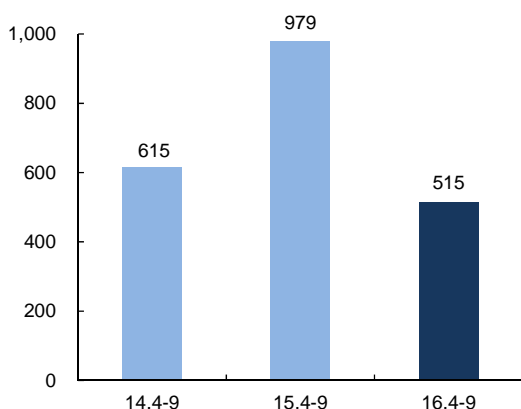


- ・生命保険の保有契約件数の増加と運用収益の改善より保険収益が伸長。
- ・2014年4-9月は、マネックスグループの株式売却益（約 150 億円）およびハートフォード生命買収に伴うバーゲン・パーチェス益（約 360 億円）を計上。
- ・セグメント利益は、前年同期比 11%増の 355 億円を計上。

【海外事業部門】

リース、融資、債券投資、アセットマネジメント、船舶・航空機関連

<セグメント利益> (単位：億円)

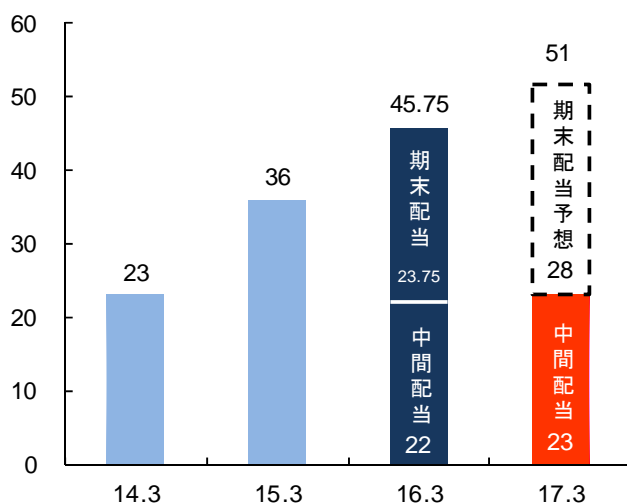


- ・前年同期は Houlihan Lokey, Inc. の新規株式公開に伴う株式売却益と評価益（約 400 億円）およびロベコの一過性の利益を計上。
- ・航空機事業は増益。
- ・セグメント利益は、為替換算の影響もあり前年同期比 47%減の 515 億円を計上。

■ 当期の中間配当金および期末の配当予想について

当期の1株当たり中間配当金は、23円とすることを本日開催の取締役会で決議しました。また、当期の1株当たり期末配当金の予想額は28円とし、通期での配当予想額は51円といたします。前期の通期配当実績対比は11.5%の増配予想であり、持続的な利益成長に向けた新規投資と安定した株主還元のバランスを考慮し決定しました。

(単位：円)



オリックスグループは、事業ポートフォリオの分散による事業展開を軸としながら、中期的な経営目標として“非金融事業の拡大”による利益成長を掲げています。オリックスグループの強みと専門性を生かしながら、「既存事業の成長」と「重点分野への新規投資」を推進し、目標とする経営指標として、2018年3月期の当期純利益3,000億円の実現を目指してまいります。

詳細は、当社ホームページにて掲載の決算短信および決算補足資料をご覧ください。

URL : <http://www.orix.co.jp/grp/ir/settlement/>

以上

<本件に関するお問い合わせ先>
グループ広報部 橋本・中村・松村 TEL : 03-3435-3167